

↓
9/24 働く女性、私生活に重き置く？

職場でリーダー 8割敬遠

働く女性の81.1%が仕事を成功させるために、職場のリーダーではなく、メンバーとして支えたいと考えていることが23日、日本能率協会グループの調査で分かった。仕事より私生活を重視する意識などが影響しているとみられている。

調査は6月、インターネットで実施。労働力人口の男女比に合わせて男性751人、女性249人の計千人に聞いた。

「成功を導くリーダーになりたい」「成功を支えるメンバーになりたい」のどちらに近いか尋ねたところ、「支えるメンバー」を選んだ女性は22.9%で、「どちらかという」と(58.2%)を含め、8割を超えた。

年齢別では、出産や育児に忙しい30代が92.4%と最も高

く、他の世代を10歳以上上回った。

「リーダー」を選んだ女性は18.9%で、男性は39.3%だった。

また、望まない転勤や仕事の変更を受け入れて高い賃金を得る正社員の働き方への考え方を問うと、女性の38.9%が否定的で、賃金が正社員より低くても転勤などが無い「限定社員」を選んだ。男性より7.4%高かった。

同協会マネジメント研究所の柴野睦裕所長は「仕事と生活の両立で、生活重視と割り切っている女性が多い。男性に比べて付加価値の高い仕事を任せにくい環境も、影響しているのではないか」と分析している。